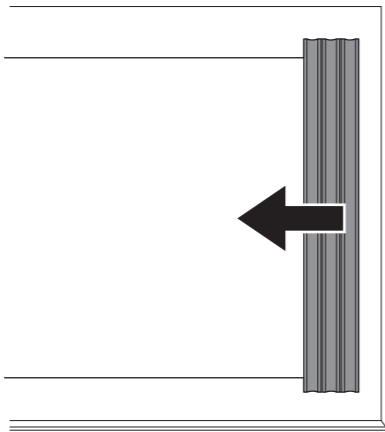


スクリーンを収納する

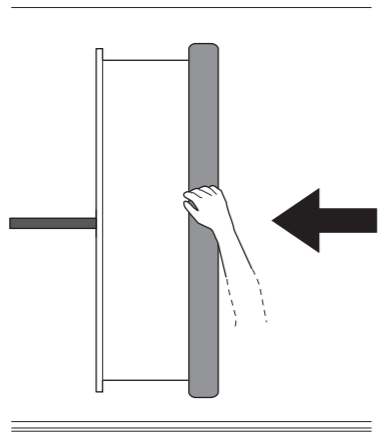
1. 巻芯を丸めてロール状にしたのち、黒板に押し付けながらスクリーンを巻き取ります。

- スクリーンを斜めに巻き取ったりゆるみが出ないよう注意してください。
- スクリーンを完全に巻き取るまで、手を離さないでください。
- 修整するときは、再度拡げしてから巻き取り直してください。



2. 巻き取ったスクリーンを黒板からゆっくり外し、ベルクロテープを巻いてとめます。

- 黒板に押し付ける力を最後までゆるめないでください。不用意に手を離すとスクリーンが落下してけがの原因となります。



日常のお手入れ

スクリーン…… 長時間使用するとスクリーン表面にマーカーの細かい顔料が付着し汚れますが、水拭きで簡単に拭き取ることができます。使用するときはスクリーンが完全に乾いてからご使用ください。水拭きのお手入れは 1 週間に 1 回程度をおすすめします。裏面のマグネット層に金属粉などのゴミが付着したときは、巻芯に少しずつスクリーンを巻き取りながら拭き取るとスクリーンにシワを発生させずにお手入れできます。

イレーザー…… プラスチックケースから、布・スポンジー体部品を外して中性洗剤で洗ってください。使用するときは完全に乾いてからご使用ください。

- お手入れにはベンジン・シンナーなどの化学薬品は使用しないでください。スクリーンの表面が変質し、均一な映写効果が得られなくなります。

仕様

品名	サイズ	イメージ寸法 W × H(mm)	重量(kg)	ケース寸法 L(mm)
WOL-M60V	60	1,275 × 800	1.7	848
WOL-M72V	72	1,545 × 970	2.2	1,018
WOL-M80V	80	1,728 × 1,080	2.6	1,128

WOLスクリーンキット(WOL-M60V/72V/80V) 取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この「取扱説明書」は、スクリーンを安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご利用いただき、大切に保管してください。(WOLはWrite on the Light®の略です)

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、製品の寿命を短くしたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

【熱器具の側に設置しない】

製品にはプラスチック素材を使用しています。ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所に設置すると、スクリーンの表面が変化する原因になります。

【金属製品などでこすらない】

スクリーンの表面は非常に硬いコート層で保護されていますが、プラスチック素材を使用しているため、金属などの硬いもので強くこすると傷が付く原因になります。

【磁性記憶媒体を 10cm 以内に近づけない】

スクリーンの10cm 以内に、定期券・キャッシュカード・CD・DVD などの磁性記憶媒体を近づけないでください。データ破損の原因になります。

【スクリーン面に粘着テープなどを貼らない】

誤ってセロテープなどの粘着テープを貼ったときは、粘着性が残らないよう注意しながらすぐに剥がしてください。粘着材がスクリーン面に残った場合は、中性洗剤などを使っていぬいに拭き取ってください。

【キレイな黒板に設置する】

設置面が汚れていると磁石に汚れが付着し落下の原因になります。また、スクリーン表面に凸凹が生じることがあります。

【スクリーンは水平に引き出す】

スクリーンは黒板面に対して平行にセットし、水平に引き出してください。

【スクリーンを拡げた直後に剥がれないことを確認する】

低温状態のスクリーンは特に強い巻き癖が残るため、スクリーンを拡げた直後は巻き戻り現象が生じて黒板面から剥がれ落下することがあります。スクリーンを拡げた直後は、手を離しても黒板面から剥がれないことを確認してください。

【貼り付け位置を修整するときは必ずスクリーンを巻き取ってから修整する】

貼り付け位置を修整するときは、必ず巻芯にスクリーンを巻き取ってから修整してください。スクリーンを拡げた状態で黒板から剥がすと、落下したり修復できないキズがつくことがあります。

【携帯時は必ずキャリングケースを使う】

スクリーンの上に重いものを載せたり固いものをぶつけると、修復できないキズがついたりホコリが付着して汚れることがあります。保管・携帯時は必ずキャリングケースに収納してください。

製造元・問い合わせ先

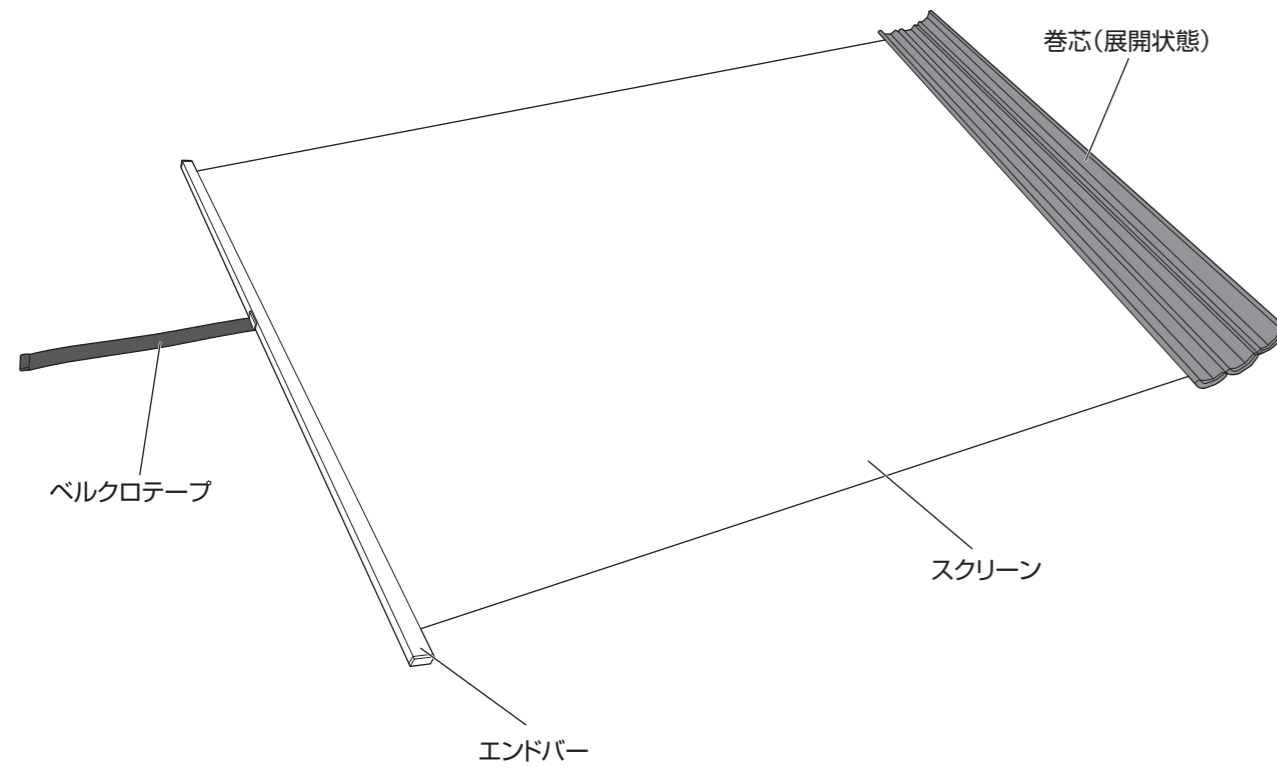
泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号 JR 東急目黒ビル 15F TEL : (03) 5719-7482

内容物

組み立て前に、すべての部品が揃っているかご確認ください。

スクリーン本体.....	1台
スクリーンホルダー.....	1個
キャリングケース.....	1個
マーカー（黒・赤・青）.....	各1本
イレーザー.....	1個

各部の名称

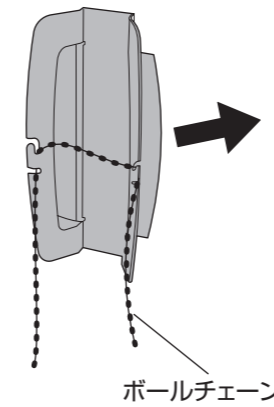


スクリーンホルダーをセットする

スクリーンホルダーを黒板に磁着します。セットする高さは黒板面の中央付近を推奨します。

- スクリーンの落下防止のため、スクリーンホルダーの切り欠きにボールチェーンをセットしてください。

◆注記 設置面のチョークの粉などをよく拭き取ってください。



スクリーンホルダーの使用法

スクリーンを収納する

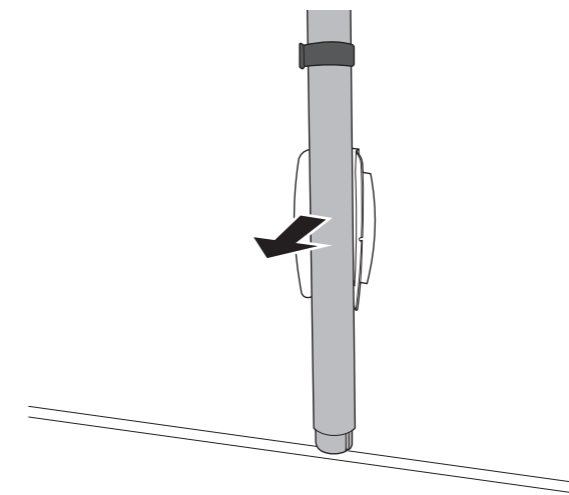
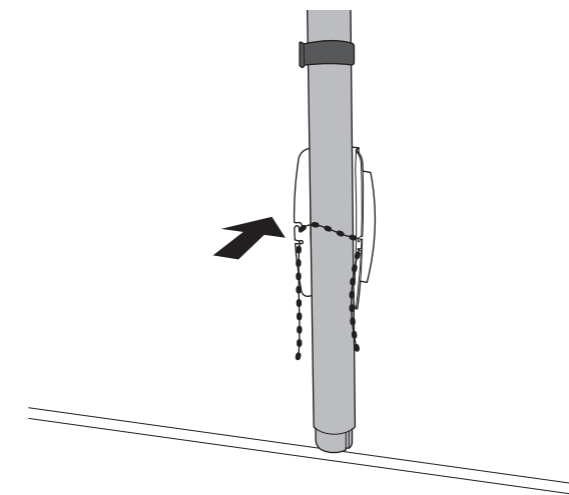
スクリーンホルダーのチェーンを外しスクリーン本体を収納します。しっかり収納していることを確認してボールチェーンをはめます。

- エンドバーが黒板面側になる向きで、スクリーン本体下部がチョーク受けのエッジにのるように収納してください。
- キャリングケースに入れた状態ではスクリーンホルダーに収納できません。スクリーン本体のみ収納できます。

スクリーンを取り出す

チェーンを外してスクリーン本体を取り出します。

スクリーンホルダーを取り外すときは、スクリーンホルダーの端部を握り黒板面に対して垂直に引っ張って取り外します。



スクリーンの使用方法

スクリーンを拡げる

1. スクリーンホルダーからスクリーンを取り出し、ベルクロテープを外します。

2. スクリーンを黒板面に対して平行に磁着させ、巻芯を黒板に押し付けながらゆっくりと引き出します。ベルクロテープも黒板へ磁着させてください。

- スクリーンを拡げた状態で黒板から剥がすと、落下したり修復できないキズがつくことがあります。
- 貼り付け時にエアなどが入った場合や貼り付け位置を修整するときは、必ず巻芯にスクリーンを巻き取ってから貼り付け直してください。

3. スクリーンを十分に引き出したら、巻芯を拡げ、磁着させて固定します。手を離して黒板面から剥がれないことを確認してください。

- 低温状態のスクリーンは特に強い巻き癖が残るため、スクリーンを拡げた直後は巻き戻り現象が生じて黒板面から剥がれ落下することがあります。

